



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

## アブラムシ類は早めの対策を！

### アブラムシ類



葉裏に1~2mmの虫が群がって吸汁し、**葉が黄化して枯れる**こともある。ワタアブラムシ、キクヒメヒゲナガアブラムシなどが寄生。アブラムシ類は同じ種類の中でも、有翅虫と無翅虫が出現する。茎・新芽・葉裏・花蕾に寄生することが多い。発生量が多くなると**排泄物(甘露)**が葉に付着して**すす病を併発**し、汚れが目立つため、品質低下や生育不良となる。

アブラムシは基本的に単為生殖(クローン)なので、1頭でも短期間で多量に増殖してしまいます。ウイルス病は感染してしまうと治療することはできません。早めにアブラムシ類防除をすることが重要です！



交尾しなくても幼虫を増やせる・・・(クローン)



**!** 防除チラシ掲載農薬は年間の通し回数をカウントしていません！ご自身の散布履歴に合わせて薬剤を検討してください！ **!**

時期	IRAC FRAC	対象病害虫	薬剤名	予防	治療	使用量・希釈倍数	使用時期	回数
定植時	P02	白さび病	inochioキクツチャ粒剤	○	—	6~9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	M03	白さび病	ジマンダイセンフロアブル	○	—	500~800倍	—	8回
	23	アザミウマ類・アブラムシ類 ハダニ類	inochio セイレーンフロアブル	—	—	2000倍	発生初期	3回
消灯時	11	白さび病	アミスター20フロアブル	○	○	2000倍	発病初期	5回
	34	アザミウマ類	ファインセーブフロアブル	—	—	2000倍	発生初期	2回
発蕾時	19	うどんこ病※・黒斑病※ 灰色かび病※・アザミウマ類※ ハダニ類※・白さび病	ポリオキシシンAL水溶剤	○	○	2500倍	発生初期	8回
	5	イラクサギンウカバ・ヨナヅミ類 アザミウマ類・ハダニ類 オオバコガ・コバネノコバエ類	ディアナSC※	—	—	2500~5000倍 (コバネノコバエ類・ ヨナヅミ類:2500倍)	発生初期	2回
破蕾期	7	白さび病	カナメフロアブル	○	○	4000~8000倍	発病初期	3回
	6	ハダニ類・アザミウマ類	アグリメック※	—	—	500倍	発生初期	5回

**!** 地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては病害が発生する場合があります。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

※花き類・観葉植物登録

### 高温ストレス耐性剤

## ライスフル

- ▶ HSP(ヒートショックプロテイン)の増産で高温耐性の向上
- ▶ 植物由来の成分が効果を発揮

**早めの高温ストレス対策がおすすめです！**



## アルガミックス

**海藻抽出成分(アルギン酸・ベタイン)が作物の乾燥・塩ストレスを軽減します！**

- 低分子多糖類が環境ストレス耐性を高める
- 即効性のエネルギー源としてグルコース・フルクトースを配合

**500~1,000倍 葉面散布 生育期**

**NPK 0-11-16**

